

しんおんせん

# 議会だより



今日から大人、人生を楽しむぞ！ (平成27年 成人式)

あいさつ	P2
平成26年度一般会計 ほか 補正予算、条例制定・改正	P3～5
一般質問 (質問者 8名)	P6～13
委員会報告・行政視察報告	P14～18
採決一覧・請願書・意見書ほか	P19
みんなの広場 足湯倶楽部	P20

しんおんせん議会だよりは、四季折々の色で印刷しており、今回は松のみどりです。

# 新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。平成27年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

年末年始は、予期せぬ降雪となった今冬ですが、お変わりありませんでしょうか。

昨年は異常気象の影響で全国各地に甚大な被害が発生しました。お見舞いを申し上げますとともに、他町のことではないとの認識のもと、防災対策に万全を尽くすべき議会として頑張りたいと思います。

議長に就任して、早いもので一年経過いたしました。この1年間を振り返ってみますと、戸惑いを感じることが多々ありました。3・6・9・12月の定例議会の開催は当然ですが、それ以外の行事の多さには驚きました。新温泉町外への出張が、豊岡16日、神戸15日、他地域13日（東京、鳥取県、香美町、等）あり、どの出張も、新温泉町にとって、大切な会議であること痛感した次第です。今年度も

同じように開催されると思いますが、より発言力を強めたいと思っています。

議会の役目として、最も大事なことは、新温泉町の意思を決定することです。前提として、  
 ①町民の声を町政に反映させる  
 ②税金の使い方のチェック機能  
 ③施策の提案、これらは、議会の永遠の課題であり継続して頑張る所存です。

今年度は議会改革の一端として、タブレット端末の導入について検討し、前に向けていきます。また各委員会の視察で得たことを町政に生かせるよう頑張ります。

皆さんが選んだ議員です。皆さんの思いを町政に反映させるためにも、議員に大いに声をかけてください。昨年は、こどもの視点を町づくりを生かすべく「新温泉町子ども議会」が開催されました。今後とも皆さんのご理解とご支援、ご協力をお願いいたします。

平成27年が皆さんにとって、すこやかで幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

- |     |      |
|-----|------|
| 議長  | 西村敏弘 |
| 副議長 | 中井勝  |
| 議員  | 宮本泰男 |
| 議員  | 小林俊之 |
| 議員  | 池田宜広 |
| 議員  | 中村茂  |
| 議員  | 岩本修作 |
| 議員  | 谷口功  |
| 議員  | 植田光隆 |
| 議員  | 宮脇諭  |
| 議員  | 西村銀三 |
| 議員  | 谷田一富 |
| 議員  | 岡坂峰雄 |
| 議員  | 高橋邦夫 |
| 議員  | 中井次郎 |



# 給食センターを統合し地域活性化施設で活用

## 賛成多数で可決

平成26年12月第71回定例会は、日程決定において衆議院解散の影響がありました。平成26年12月9日から12月26日を会期として招集されました。今定例会には請願1件、承認1件、条例改正5件、事件案5件、諮問1件、平成26年度各会計補正予算11件（追加補正含む）が提案され、いずれも賛成多数で可決承認されました。その内容についてお知らせします。

### 条例関係

**新温泉町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の制定**

**説明** 公立浜坂病院元非常勤医師の所得税源泉徴収問題に対し、平成26年9月19日最高裁の医師側上告棄却の判決により管理者として自らを律するため、給料月額を町長2割、副町長1割をそれぞれ1月減給するもの。

**問** この事案の発生はいつで、関係役職者は

誰か、参事役割は、医療公務員として面接したのは、採用で契約方式があるのか、医師の支払い能力、債権回収時に成功報酬は適正か、未回収の場合の損害は、町民感情として納得できない。

**答** 医師の招聘は大変困難なこと、責任の最終は町長にある。今回は自ら律する処分である。債権が無効にならないように回収に努力する。成功報酬の扱いは問題ない。参事との和解は議会の了解事項で今回は別件。非常勤

職員で契約し期間を定め採用している。19年10月から23年3月末まで勤務、支払能力は医師としての仕事以外は不明。

**問** 病院参事はどのような位置づけか、根拠がない不適切な人事。町長、副町長が自ら律するとはどういう意味か。

**答** 将来の処理を誤らないように。債権回収に全力を挙げることが責任。そういう意味での条例である。

**新温泉町消防団員等公務災害補償条例の一部改正**

**説明** 次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の施行による児童扶養手当法の改正に伴い改正するもの。

**新温泉町国民健康保険条例の一部改正**

**説明** 健康保険法施行令等の一部を改正する政令において健康保険法施行令が改正されることに伴い改正するもの。

**問** 国保運営協議会の意見をきいたか。国保に伴う各種状況についての報告を含め開催すべき。



設備と作業機能がアップした新センターでは3学期から安全な給食1400食/日を提供しています。

**答** 法改正に伴うもので同会は開催していない。ご意見は参考にした。必要な時点では同会を開催する。

**新温泉町立学校給食センター設置条例の一部改正**

**説明** 温泉学校給食センターを浜坂学校給食センターに統合して運営するために改正するもの。

**問** 統合は老朽化より経費削減ではないのか、3学期から新施設だが何を主に進めるのか、ムースに改修ができたか。雇用は確保されるのか。

**答** 33年経過しており不安がある。節減にもつながる。食育の観点とアレルギー等安全対策を重視する。施設整備は順調、正職2名は減し他は継続雇用する。

**問** 施設の開設は春だったがなぜ早めたのか、統合によって総人件費はどうなるのか、現場の意見は掌握して実施したか、地元食材の調達は。

**答** 当初27年度開設だったが工事は夏休みまでに概ね完了した。諸準備も2学期で出来ることから9月に報告しムースな移行のため1



雇用拡大の場・地域活性化施設（井土）として新たに活用される旧温泉給食センター

月開始とした。総人件費については人の配置の仕方では変わるため確定できない。現場とは春から都度協議しながら進めてきた。地元食材は引き続き提供を求めたい。

**問** 地産地消の観点から給食推進委員を設置し、センターを運営してほしい。

**答** 主旨は理解している。従来から推進委員役は所長が行ってきた。より地産地消を進めたい。

**新温泉町地域活性化施設条例の一部改正**

**説明** 新温泉町立学校給食センターの統合に伴い温泉学校給食センター跡地を地域活性化施設として有効活用を図るために改正するもの。

**問** センター内の備品・設備はどうなるのか、使用料の根拠は、どの

ような形で利用者を募集するのか。

**答** 使用料は固定資産税相当額で算定。備品・設備は新センターに利用したもの以外はそのまま置く。

1月5日から2週間の期間で募集する。

**問** 現在使用中の施設をこんなに早く対応処理する意味は何か。地域要望等との整合は取れているのか。

**答** 施設廃止後は普通財産に変更するものだが、建物は食品加工施設として使いやすい物件であり、早期に生かすことを考えたい。学校施設とは意味合いが違い地元とのかかわりは薄い環境にある。

## 事件案

鳥取市と新温泉町との定住自立圏の形成に関する協定の變更

平成24年3月の協定

内容について見直しが行われた。今回は11部会を組織し関係部署で協議を重ねた。主な見直し重点項目は「医療体制の充実、山陰海岸ジオパーク構想の推進、鳥獣対策、林業・水産業の振興、地球温暖化、教育、地域活性化、地域内外の住民との交流・移住促進、安全・安心ネットワーク強化、ICTインフラ整備、中山間地域振興に係る民間人材の育成」となった。

**中山間地域総合整備事業の計画變更**

中山間地域総合整備事業（浜坂地区）の最終年度にあたり各種の精算を含め計画變更が行われた。概算総事業費は3億5,103万9千円となった。

**町道路線の廃止・認定**

兵庫県が施工する浜坂道路事業に伴う町道機能の付替えにより、機能的な道路網の整理のため町道「対田36号線」の起点と終点の見直しが行われた。

**公の施設に係る指定管理者の指定**

（ペット休憩施設）  
ワンニャン夢ハウス  
休止中であつた同施設の指定管理者に「ペットクラブJOY」を選定した。期間は平成27年1月1日から平成31年3月31日。

## 専決処分の報告

新温泉町一般会計補正予算（第5号）の専決処分

**説明** 本専決は12月14日執行の衆議院選挙に伴う収支の補正を行ったもの。

**問** 投票事務において立会人の拘束時間が長いが、ポスター掲示板の位置が側溝沿いで危険な箇所が多々ある。

**答** 掲示板の数は法定のとおり、設置場所は見やすい場所を選定しているがご意見のような場所もある。再点検する。立会人の休憩時間は配慮したい。

**問** 投票用紙配布数と投票数に差があったが経緯の説明を求めます。

**答** 比例の選挙で用紙の配布ミスがあった。マニュアルどおり実施していたが二重交付となっていました。原因は雪による湿気で張り付いての交付となった模様、緊張感をもって十分に注意する。

## 補正予算

この度の一般会計ほか各会計の補正予算は、9月以降に発生し

た収支における予算調整と年度末を見込んだ補正として提案された。

主なものは、総務費では、旧奥八田小学校

法面災害復旧の工事費819千円増額、再生可能エネルギー導入促進事業補助金1、

700千円減額。民生費では共同作業所の施設改修に設計管理委託料と工事請負費を合わせて3、691千円を

追加増額、福祉医療費や後期高齢者医療費、児童措置費は国県の補助金確定に伴い扶助費や負担金を増額。

衛生費では八田診療所医師不在に伴う繰出金10、358千円減額。農林水産業費の農業振興費では不用となった経営体育成支援事業補助金5、729

千円減額、林業振興費のバイオマス事業補助金2、152千円増額。

商工費では遊覧船ガイド養成事業2、076千円減額。消防費では広域消防の無線デジタル化負担金2、841千円減額。

教育費は給食センター改修工事完了に伴う工事及び備品購入費1、135千円が減額された。

また、併せて国民健康保険事業特別会計補正予算ほか6件、水道事業会計補正予算ほか1件も議案上程され、いずれも賛成多数で可決承認された。

また、12月10日に追加提案された人事院勧告に伴う一般会計ほか8会計の補正予算も、いずれも賛成多数で可決承認された。

今回の一般会計補正は43、829千円を増額し、一般会計予算は総額101億476千円となった。

今回の一般会計補正は43、829千円を増額し、一般会計予算は総額101億476千円となった。

平成26年12月補正予算（一般会計 特別会計 企業会計）

（単位：千円）

会 計 名	専決補正	一般補正	人勤補正	補正計	補正後予算	
一 般 会 計	13,860	22,682	7,287	43,829	10,100,476	
特別会計	国民健康保険事業勘定	-	△ 11,594		△ 11,594	1,888,908
	照来診療所	-		197	197	42,326
	八田診療所	-	△ 15,938		△ 15,938	12,580
	歯科診療所	-		265	265	63,764
	後期高齢者医療	-	△ 11,471		△ 11,471	209,304
	介護保険事業	-	△ 2,005	337	△ 1,668	1,710,925
	浜坂地区残土処分事業	-	13,950	105	14,055	126,125
	温泉地区残土処分事業	-	△ 1,495	93	△ 1,402	42,563
コミュニティ・プラント事業	-	600		600	73,754	
下水道事業	-	2,372	4,497	6,869	919,105	
公営企業会計	浜坂温泉配湯事業	-		89	89	90,296
	水道事業	-	1,700		1,700	1,013,228
	公立浜坂病院事業	-	22,747		22,747	2,266,674

## 反対討論

中井次郎議員

議案第16号平成26年度新温泉町一般会計補正予算（第6号）

八田診療所、医師確保を行い、平成27年1月より診療再開される。この点は評価する。

北但行政事務組合の焼却を基本とする処理施設建設はリサイクル社会と相いれない。設計仕様書なども住民・議員にも非公開である。土砂崩れや現場管理のミスが原因で工期の延長、工事費増加、その責任は誰にあるのか、それははっきりしない。このように多くの問題を抱える工事は直ちに中止すべきである。

問 総合計画の議決は条例定義が必要

町長 法の主旨を踏まえ早期に条例提案したい



中村 茂 議員

町制10周年は節目

問 平成27年度は町政10周年の大きな節目の年。記念式典は無論だが、この年を次の10年へとつなぐため町全体が活性化するように仕掛けや誘導を企画すべき。町政10周年の所感

答 10周年は、ひとえに町民や議会の皆さんはじめ多くの方々の御努力のたまもの。10周年を迎える市町が多くあり動向を拝見しながら節目の年を迎えたい。現時点でイベント等の考え方は持っていない。

問 豊岡市も来年が10

周年。既に9月定例会で補正予算等約1千万を計上し、新市誕生10周年記念市民公募14事業と市民パレードを企画している。節目を生かすような戦略を早期に企画し準備すべき。

問 各市町がどんな取り組みをするかは注視していきたい。住民の一つの結束なり統合なり、象徴的なイベントがあるなら対応したい。

総合計画の改定は

問 町の最上位計画として総合計画（基本構想、基本計画）がある。計画の満了は平成28年度だが改定作業は27年度からとなる。現状における改定の方針、考え方は。また、平成23年地方自治法の一部改正（議決要件の廃止）に伴う対応が欠けている。議決にはそれなり

の手続が必要だが、どうするのか。

問 具体的に現計画の到達点や総括はこれからの作業。住民皆さんの意見・意向をしっかりと把握する作業も27年から進めたい。総合計画の議会議決は、当然のごとく内容を皆さん方に披瀝しながらいい計画をつくりたい。法の主旨と意向を踏まえ早期に条例提案

したい。

問 住民の現状・意向調査は細かく丁寧に行う。調査した結果を職員で共有し自分たちは何をすべきかを発見してほしい。基本計画は職員の英知を結集して、町に合う具体のプランを職員の手ですべき。

問 摘の点は同感。そういう点を大事にしなから、計画を作成していきたい。

ゴミの勝負の年

問 広域ゴミ処理は28年度開始。それまでにどれだけゴミ減量・資源化が図れるかが勝負と言われてきたが（特に事業系が重点）その現状は。

問 現状は、ご指摘のように、事業系のごみ分別と減量が非常に大きな課題であり、搬入時に1台1台チェックをしている。27年度が一番大きな課題と認識している。全力を挙げて取り組む。

その他、観光誘客ゾーンにおける公衆無線LAN(Wi-Fi)スポットの面的拡大を提案し、前向きな回答を得た。



外国人旅行者には必須、公衆無線LAN(Wi-Fi)スポットの面的拡大が必要

## 一般質問

# 新しい作業所の進捗状況は

町長 平成27年3月25日完成予定



中井 次郎 議員

**問** 現在、いずみ及び

いわつばめ両作業所を一つにし、新しい作業所を作る事業が進んでいる。どこまで進んでいるのか尋ねたい。

**町長** 10月23日に契約を結び、着工している。完成予定は平成27年3月25日。ただ、この度、手をつなぐ育成会から要請があり、施設の安全面等を配慮して、玄関やトイレの工事をするための補正予算をお

願っている。

**問** この施設は皆さんから期待されている。この事業を巡っては7

月に育成会から要望書が出され、9月にも同じものが出されている。今回の補正予算で十分なものや、抜け落ちていた箇所が追加で行われる。なぜ、要望書が2回も出される事態になったのか。その原因は育成会、社会福祉協議会、町行政（担当課）が一堂に会し、意思疎通する場がなかったことではないか。

**町長** 本来、作業所なので、現場の意見や育成会、行政などの意見調整が不十分であった

と思っている。今後の教訓にしたい。

**問** この新共同作業所の運営はどこが主体となって実施するのか。可能ならば育成会がN

PO（非営利団体）の資格を取って、やってはどうか。

**町長** 前提として社会福祉法人でなければならぬ。そのような資格を取得していただければ、その方向もあると思う。

**問** 次に今後の課題について尋ねたい。手元に、新温泉町障害者福祉計画、新温泉町障害福祉計画第3期、平成24年3月策定を持っている。今後、宿泊訓練施設やグループホームなどの建設要望が出てくる。このようなことも、建設年次とか財源をはっきりさせ

て、思い付きではなく、しっかりと計画を立てていくべきだ。第4期は何時から始まるのか。

**町長** 次期の計画は27年度から実施というこ

とになる。今要望がありましたグループホーム等についても、具体的に数字を入れて、改革を図るということで、事務を進めている。



本年4月開設予定で工事が進む新作業所

問 ふるさと納税の謝礼品で町のアピールを

町長 寄付者の実費相当分については考慮する



池田 宜広 議員

「ふるさと納税制度」について

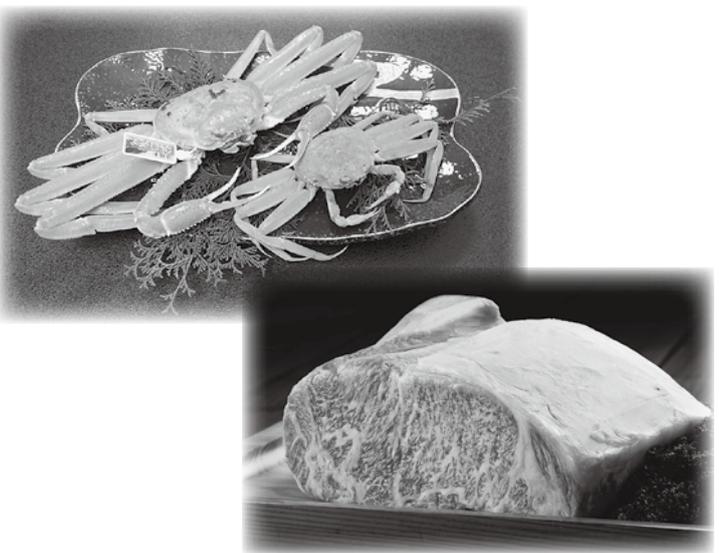
問 兵庫県下の41自治体ある中で、32の自治体は寄付者に産品を謝礼品として送っている。当町は寄付者に対して、謝礼品などは無い。確かに住民税の考え方から逸脱している部分もあるように感じるが、当町の産品を全国に発信できる媒体と考え、今後の施策に反映され、大交流のスタートを切っているのではないか。

町長 この「ふるさと納税制度」の趣旨は地

方税収のアンバランスな状況を是正する、それが事の始まりであつたと私は思っており、寄付者における自由意志が基本、一番大切で一定の目的で使用していくのが基本原則だと思っている。ただ昨今の状況として、謝礼品の送付が非常に過熱している。しかも中央の方もそれを助長している感もある。しかし寄付者の実費相当分については、考慮していく必要があると思っている。

問 商品合戦ではなく、中央の総務省としても「適切な良識を持った対応を」としてあるので、この制度を大いに利用して当町が活性化していくことが急務ではないか。

町長 町も一定の補助を出していて、商工会でやっている「ふるさと温泉会」地元産の物



「ふるさと納税制度」に謝礼品を活用すべき

を会員さんに発送することをやっている。これを何とか強化しながら、ふるさと納税制度の趣旨をしつかり踏まえ、節度ある対応を今後とも心がけていこうと思う。

「人口減少・流出」について

問 当町はここ10年

間で自然動態等々含め2,670名減少している。そこで歯止めをかける対策として今以上に子育て世代への支援をしていくべきだ。今の支援は一定の条件をクリアすると第3子は無料だが、なかなかそのような家庭は少ない、条件緩和をすべきではないか。

町長 当町の保育料は

低い方に抑えているのが実態である。必ずしも今の支援策が公平性に合致しているかといえば、必ずしもそうではないと思っている。そういう点「こども園の第3子無料化」の是正は検討に値する。今後とも子育て環境の整備等々に努力していく。

「中小企業振興資金融資制度」について

問 今の利子補給期限の設定では、満額利子補給を受給出来ないのではないか。特に長期については貸付実行日より3年間利子補給を実行すべきだ。

町長 景気回復という点で、町の隅々までという局面には至っていない。27年が最後の時限立法であるが、期間延長の要請が強ければ期間延長をする。

## 一般質問



谷田 一富 議員

### 問 国と連携した地方創生会議を早急に

#### 町長 必要なら対応したい

**問** 地方創生法案のポイントは子育て支援と人口減対策である。我が新温泉町は県下一の減少率となっている。どこよりも早くこの問題に取り組んでいくべきだと考えるが。

**町長** 若者定住であったり雇用、交流人口の拡大において、我が町の方が国より先駆けて取組んでいると思っている。総合戦略の骨子案が示されており、具

#### 今こそ100人委員会を開催しては

**問** 2040年には新温泉町の人口は約半分又若い女性の方は約70%減少するとの試算が発表されている。かつて旧浜坂町では若者を中心とした100人委員会を開催したことがある。人口減少が著しい今こそ若い方の意見を取り入れる委員会を立上げるべきだと考えるが。

**町長** 住民の皆さんの声、特に若い方々の声は政策を立案していく上で大事である。計画をつくる上で協議会や委員会が必要なもの

のであるなら、対応していきたい。

#### 保育料の無償化について

**問** 島根県の邑南町は「日本一の子育て支援を目指して」をキャッチフレーズに第2子の保育料を無償化している。それにより50数世帯が移住をしている。また、国において

も現在のような少子化になってくると保育料の無償化の議論をせざる負えなくなってきた。結局来年度は見送られたようだが、一度議論されたという事は、必ず近い将来に無償化される。全国的に新温泉町が本当の「子育て支援日本一」を目指してはどうか。

**町長** 私立の保育園で

#### 山の日にもむけて

あれば運営費も物的な施設を建てる等に手厚い補助が得られるが、公立の保育園には一切補助がない。保育料の全面的無償化は町の負担が余りに大きすぎて、無償化に進めないのが現状である。

**問** 平成28年8月11日は「山の日」に制定される。わが町は偉大な先人「加藤文太郎誕生の地」でもある。「山の日」に向けてデザインを統一化した加藤文太郎グッズを町をあげて取り組んでみてはどうかと思うがどのように考えるか。

**町長** 行政がロゴマークをつくっていいのかわ。又加藤文太郎顕彰する意味での提言だと思っ



町内の子育て施設「大庭認定こども園」

問 町名にふさわしい町づくりを

町長 外に向かって発信したい



西村 銀三 議員

**問** かつて湯村温泉は温泉を軸に、牛市、博労さん、芸者の4つが相なって繁栄を導いてきた。しかし時代は変わり、今は温泉、食、健康の3つが町づくりのカギとなっている。新温泉町は他の町と大きく違うのは温泉が豊富であることだ。そこで、わが町は健康で長生きが出来る町か、平均寿命はどうか、暮らしやすい町か、Uターンなどの実態を尋ねる。**町長** 介護、医療、健康などの現状を分析することは重要だ。平均寿命は分からない。暮らしやすさはその時々で変わってくる。U

ターンなどの詳しい現状掌握は難しい。

**問** 温泉の農業や発電への利用はすむか。

**町長** 農業への利用は高いハードルがある。現在湯村温泉でバイナリー発電を行っているが、動力源として効果的に使っていきたい。

**問** 湯村、浜坂、七釜など既存の入浴施設に障がい者が車いすで入れるよう補助を出すなど、温泉を健康に活用する方法を考えては。

**町長** 温泉施設は金銭に代えがたい大きな効果を呼んでいる。町民の健康志向を深め、外に向かつて温泉の効能を発信したい。

**問** 浜坂病院を活気ある楽しい健康づくりの病院にするため、温泉診療科を設け、近くに温水プールを設置し健康づくりの拠点にしては。

**町長** 温泉を利用した



足湯もリニューアルされ、賑わう湯村温泉「荒湯」付近

リハビリ、スポーツ医学といった方向はあるが、現在、医師の招聘は大変難しい。プールは財源的に無理だ。**問** 城北高校がバスで送迎する時代となっている。浜坂道路は平成29年には完成する。鳥取への道路も整備が進む

むと過疎に拍車がかかると思うが、道路開通に合わせた町づくりの方向を問う。また、企業誘致などは可能か。鳥取へのバス路線、公共交通の見直しはどうか。

**町長** 高規格道路のメリットをどう取り込む

かにかかっている。企業の誘致は大変困難だと思うが、町内から起業することが出来ないかと考えている。ゆめぐりエクスプレスはシートベルトがないため高規格道路の通行は出来ない。鳥取空港利用促進協議会ではリムジンバスを検討している。

**問** 浜坂に検討している道の駅はいつできるか。**町長** 年内に場所を決定し27年度に土地買収を行う。

**問** 新温泉町に住所を移してもらえば、配湯料金を5年間無料にするとか、湯を活用した施策を考えるべきだ。**町長** 家で温泉に付くことが出来る町は少ない。住民と温泉との結び付きは活性化に重要な視点だ。一層の奮励をしたい。

# 一般質問



高橋 邦夫 議員

## 問 地元就職の若者に支援を

### 町長 支援策は必要と思っている

**問** 人口減少が顕著な折、若者を地元に着させる視点での特色ある学校・企業支援が必要では。

**教育長** 地元への就職希望者には商工会などと連携し、高校生の希望とマッチングできるような取り組みもなされている。

**問** 企業誘致による移住・定住を図るという発想から、地元の産業・企業を大事にしていく事が大切だ。例えば、隠岐の西ノ島町と漁協

がタイアップし巻き網船団員を募集しているような具体的な漁業就業者支援や最大7年間150万円の支援がある。就農支援事業など一次産業・地場産業への就職・生活支援を積極的に実施すべき。

**町長** 新規就農支援は3名程度の対応をしている。今までは団体に對する支援・補助が主であった。今後は農業漁業への就業などに目的を持った個人への支援策は必要と思っている。

**問** 定着には欠かせない課題として住宅問題がある。兵庫県は鳥取県より家賃が全般的に高い。そこを解決させる若者の妻帯者住宅などが必要ではないか。

また、県営住宅は廃止の方向か。

**町長** 低廉な公営住宅は現在3か所ある。通勤や通学の交通費の支援や家賃の支援も効果的な対応の一つと思う。思い切った施策をとっていく事はかなりハードルが高い。また県住は老朽化に伴い、新たな入居は中止しているようだ。

**臨時職員も六十五歳まで雇用してはどうか**

**問** 職員には再任用制度もある。60歳超えの雇用で年金受給開始まで雇用してはどうか。

高齢者が多いシルバー人材センターに行政が発注していることに矛盾が発生する。

**町長** 現在は再任用も61歳までで、65歳までは到底できないと考えている。

危険空家対策をしっかりと取り組もう

**問** 空家を定住移住の対策で発想する事は避けなければならぬ。また、住宅解体後の固定資産が増えることが障害になってはいないか。

**町長** 空家が定住移住とは関係ない。固定資産税は町単独の判断はできない。

「道の駅」は西ルートが確定してからでも遅くない

**問** 位置の決定は検討委員会がきめるのか。北近畿但馬道の全線開通を見据えた位置にすべきだ。一時凍結し、県にはサービスイリア設置を要望する事に向転換すべきであろう。

**町長** 西行きは整備区間になった段階で何年



「道の駅」の予定地として発表された栃谷インター付近

先に開通するかもわからない。栃谷インター付近で十二月に結論を出す。

問 アベノミクスから暮らしを守れ

町長 具体的な対応は難しい



谷口 功 議員

アベノミクスから暮らしを守れ

**問** 大企業は空前の利益を上げ、株高で100億円を超える資産がふえた人が100人以上もいる一方、働く人の実質賃金は16カ月連続で下がり続けている。生活保護基準の引き下げ、70〜74歳の医療費窓口負担2倍化、ガス・電気代、ガソリン・灯油代、輸入食料などの高騰で物価は平均4.6%上がって家計を圧迫している。

る。月額3〜4万円の年金生活者、生活保護所帯、母子所帯などへの生活支援が必要ではないか。また、円安で苦しむ零細事業者、米価暴落や燃油高騰で苦しむ農・漁業者への支援策が必要ではないか。



新しい視点で多くの提言「新温泉町子ども議会」

**町長** 具体的な対応は現状では難しい。

アルコール健康障害対策を

**問** アルコール健康障害対策基本法が、平成25年に成立、施行されたが、啓発、啓蒙が必要か。

**町長** 要ではないか。適性飲酒や食生活指導の推進を図る、本人、家族からの相談も行う、酒害相談員の協力、家庭訪問、また医療機関との連携を図り、断酒会への参加も進めていきたい。

教育委員会はどうか

**問** 地方教育行政法が改定されて教育委員会の体制が改められるがその概要説明を求めたい。

**町長** 教育長は、教育委員会の中で協議によって任命というのがこれまで。新制度は首長が議会の同意を得て任命する。また、教育委員長の役割も教育長があわせて持つ。全責

任が教育長になっていく。教育振興計画を作成する権限を首長に与えられる。

**問** 教育の自由や独立性が保てるか。

**町長** 制度としての危険性を十分に認識しながら、むしろそのことを逆手にとって進んでいくという方向を基本的にきちんともって、住民からの信託を受ける教育をやっていく。

**問** 学校図書館に専任司書を配置せよ。

**町長** 子どもたち自身が主体的に意欲をもって学び続け追及していく学習姿勢を育て助けるためにも、図書館の役割は非常に大きいと思うので重視している。県費での司書教諭の配置を要求していく。

# 一般質問

## 問 地方創生に漁業用燃油高騰対策を期待する

町長 法案骨子では措置が講じられていない



宮本 泰男 議員

**問** 地域活性化の中で、本町が取組まなければならぬのは基幹産業である漁業である。漁業者は燃油の高騰、資材の値上がり等赤字経営が余儀なくされ、塗炭の苦しみで暮らしている。燃油高騰対策支援助成を次年度予算措置で要望する。

**町長** 漁船保険に支援措置を講じた。漁船漁業維持に効果的と思う。 **問** 漁船保険料助成額は330万円である。対象船は2百余隻であり1隻あたり1万5千

円の助成である。沖合底引漁船の年間保険料を5百万円以上支払う船主もいる。この現実から助成策の引上げ改善、さらに燃油高騰対策を緊急にすべきである。沖合底引船で年間消費金額5,000万円、2,000万円支出している。この現状勘案し地域経済活性化対策予算化を強く要望する。

**町長** ふるさと創生2法案が通って総合戦略の骨子が示された段階で、直ちに漁業に対して、燃油に対して新措置が講じられるまでに至っていない。

### 問 水産加工業の活性化について

水産物仲買人（水産加工業者、行商人、小売店）の組織化を図り、

- 1、新商品開発
  - 2、魚のブランド化
  - 3、販路拡大活動
  - 4、経営研修会開催
  - 5、付加価値、技術向上研修会開催
- 等事業活動ができるよう町がリーダーとなり推進すべきである。
- 町長** 水産物付加価値の視点から漁協が鋭意努力して欲しい。

### 問 地域おこし協力隊について

**問** 水産担当か、活動内容は。

**町長** 10月からは観光担当である。水産担当は新年度で対応する。国の制度利用の1次産品（農畜産物、水産物）の加工、外商流通担当を所掌する。

### 問 人口減少対策について

子育て支援が人口

減少の歯止めとなるといわれ地方創生の重要課題である。町長は保育料の無料化、時間外保育、学童保育等本町の施策が他町に先駆けて実施しているものもある。と答弁した。その内容を問う。

**こども教育課長** 延長保育は無料、認定こども園待機児童現在無し、学童保育国基準小学校3年生を6年生まで引受けている。認定こども園の1歳未満職員配置状況国基準では6人に1人だが本町では3人に1人。

**問** 福祉、医療関係は。 **副町長** 妊婦健診は無料、乳児健診無料（3歳児まで無料）、こども医療費中学校3年生まで全額無料等施策を展開している。 **問** 次年度は思い切った改革、経済的支援等人口減少対策の実施をすべきである。



漁業用燃油高騰対策が必要「浜坂漁港」

産業建設常任委員会

12月17日開会

農林水産課

有害鳥獣捕獲等状況

平成26年度、猪(344頭)・鹿(29頭)・ヌートリア(28匹)捕獲した。

Q 猟期が過ぎれば捕獲しても有害にならないか。

A 有害捕獲と狩猟とは区分している。

27年度、地域おこし協力隊募集概要について

Q 具体的に何をするのか。募集までのスケジュールは。

A 地産、地消計画を作成し、推進する。募集は年末から2月中旬に確定し4月に採用した。

中山間地域総合整備事業の変更について

(ほ場整備等工事の減により2億4,896

万1千円の減となる)

牧場公園課

Q 牧場公園内に農産加工施設の検討を。

A 関係課と調整のうえ、出来る事を検討していきたい。

地域おこし協力隊の募集について

Q 目的を明確にし、募集してほしい。

A 都市の人が但馬牛と関り、定住して頂く事が理想だ、和牛振興等、中心になる人材を育てたい。

公園20年の歩み発行した

建設課

26年度、工事等発注状況及び進捗状況

Q 工事誘導員の指示が不明瞭だ。

A 交通誘導員には指導している。

町道除雪計画について

Q 除雪業者は減ったか。

A 温泉地域で一社減った、浜坂地域は変更なし。

下天山公共建設残土処分場の安全監視について

Q 監視員の見直しは。稼動してないときは。

A 廃止はできない。稼動しないときは、建設課において事務補助をお願いしている。

商工観光課

道の駅建設予定地について

(予定地は栃谷北交差点の西側、面積や用地買収は県と協議し、浜

坂道路の開通に合わせて開設の予定)

新温泉町地域活性化施設条例の一部改正

(温泉学校給食センター跡地を地域活性化施設として有効活用を図る)

公の施設に係る指定管理者の指定

・施設名：ワンニャン夢ハウス

・指定管理者：ペットクラブJOY・会長山中笑美

・指定期間：27年1月1日～31年3月31日

全国どぶろく研究会一ノ北近畿の開催について

・日時：27年3月12・13日

・会場：12日・PM3時から夢ホールにてシンポジウム開催



道の駅予定地として発表された栃谷インター付近

# 委員会報告

## 環境福祉常任委員会

12月16日開会



町内現場視察（清富）

### 町内現場視察

実施日 11月19日  
視察先 清富水管橋移設工事保呂瀬公園工事（旧浄化センター）  
二日市配水池進入道路整備工事  
送・配水管布設替工事  
（町道古市二日市線関連）

### 上下水道課

#### 発注及び進捗状況

Q 簡易水道を上水道に統一すると一般会計予算から補助金を出すこともできなくなつて、料金の値上げをしなく

てはならなくなるのではないか。

A 国の指導であり統一しなくてはならない。過去の設備投資が大きすぎて、給水原価が上がり近い将来、値上げしなくては会計の維持ができない。

平成26年度下水道事業会計予算（案）  
宇都野町職員駐車場  
前下水道マンホール  
ポンプ移動の件

Q あまりに高すぎる。何とかならないのか。  
A 地主が売ってくれない。口径が大きく、深くに埋めている。したがって費用が多くなる。

### 健康福祉課

#### 八田診療所の再開

医師 井上満夫氏  
（三田市）

平成27年1月7日  
毎週水曜日（午後）  
木曜日（午前・午後）  
※毎週第3木曜日午後  
は岸田出張診療所に勤務

## 総務教育常任委員会

12月18日開会



ゴルフ利用税の対象  
「湯村カンツリークラブ」

### 子ども教育課

#### 報告事項

① 吊り天井工事は、今現在、夢中・浜中・北小の工事は完了し、次年度で6校（夢中の武道館含む）の工事を完了する。

② 不登校に対する原因・対策は、精神的な体調不良が主な原因であり、家庭訪問等に対応しているが、解決には至っていない。

③ 平成27年4月から始まる、「子ども子育て支援制度」地域の実情に応じた子ども、子育て支援を総合的に進めていく。

### 税務課

Q ゴルフ利用税廃止と聞くと、今後の見通しはどうか。

A 地方において貴重な財源であり、廃止しないよう求める。

### 企画課

#### 地域おこし協力隊

Q 農林水産課での募集となっている、観光等から始めた活動が考えられないのか。

A 各課の連携をとり町全体の協力隊になるよう考える。

### 生涯教育課

#### 報告事項

① 老朽化が進んでいる夢ホールの吊り天井工事は、建物全体を含め大規模耐震改修工事が必要と考える。次年度以降考えていく。

## 産業建設常任委員会

・視察日程

平成26年7月15・16日

・視察先

鳥取県琴浦町

島根県邑南町

・参加者

植田光隆 委員長

中村 茂 副委員長

中井 勝 委員

西村銀三 委員

高橋邦夫 委員

《鳥取県琴浦町・道の駅》

道の駅『物産館こと

うら』はH23年に山陰

道琴浦PAにオープ

ン。町の観光情報の発

信や地域特産品の紹

介、販売を通して、観

光振興及び、地域の活

性化を図っている。

我が町も、H29年度

オープン予定で整備を

検討中である。交流人

口の拡大で、外資を期

待し、観光振興につな

げたい。又地元漁場で

水揚げの魚介類や、地

元の農産物を直売し、農山漁村の活性化にも期待したい。

《島根県邑南町》

邑南町は全国のモデル地域となった自治体で、行政視察者が年々増えている。

「A級グルメ立町」

と「日本一の子育て構

想」を核とした、定住

促進プロジェクトについて視察した。

H23～27年の5ヶ

年間、農林商工等連

携ビジョンを策定し、

目標を3件設定して

いた。①5名の起業

家輩出、②定住人口

200名の確保、③観

光客100万人の実

現、3カ年経過し2件

は達成し、残り1件も

残す2カ年で達成でき

そう。町内で生産され

た農産物を素材とし、



「A級グルメ立町」について視察（島根県邑南町）

「ここでしか味わえない食や体験」をA級グルメと定義し、自給率

100%の米を中心に

地産地消を図り、農業

者を巻き込み農商工連

携を目指していた。

又、地域おこし協力隊

を活用した食材作りか

ら調理までを行う「耕

た。

すシェフ」の育成等行っていた。又、第二子から保育

料の無料化など、子育て支援も充実させ「日

本一の子育て村」を掲

げていた。

※邑南町の取り組みか

ら学ぶことは多くあつ

た。

## 総務教育常任委員会

・視察日程

平成26年8月18・19日

・視察先

福井県南越前町

・参加者

宮脇 諭 副委員長

池田宜広 委員

岩本修作 委員

西村敏弘 議長

・視察目的

「地域おこし協力隊」

採用先進地の取組みと

活動状況

・南越前町では現在2

名の地域おこし協力隊

が活動されていて、一

人は29歳の女性で、都

会育ちの若者から見た

地域食材の発掘と商品

化、PR等のキャラバ

ンプロジェクト、今庄

再生プロジェクトを担

当。もう一人は28歳の

男性で町の観光資源全

般の掘り起し、情報発

信、PRを担当。

・質疑応答で収入面、

3年間の任期満了後の

処遇。将来この地に定

住していくための就

業、経済的不安はない

か（との質問に）

# 行政視察報告

(両隊員) 都会と田舎の生活環境は全く違うので一概に金額面での比較はできない。地域感いは近所の方に小さな畑の提供を受けたり、できた野菜を頂いたり、それほど暮らしにくいとは思わない。それ以上に都会暮らしにない「人のため、地域のために何ができ役に立てるかを考え地域の人たちと共に活動、交流し、活性化という

目的達成に向けて自分の立ち位置が実感できることの方が大事だと思っている」とのこと。(女性隊員)「自分同様、都市部には地方の活性につながる仕事をしたという人は私の知り合いの中にもたくさんいます。これを機にそういう人たちとともに新温泉町との交流ができればと思います」との言葉を頂きました。



「地域おこし協力隊」について視察 (福井県南越前町)

## 環境福祉常任委員会

日時 平成26年10月21・22日

視察先

滋賀県日野町

丹後中央病院

参加者

岡坂峰雄 委員長

谷口 功 副委員長

宮本泰男 委員

小林俊之 委員

中井次郎 委員

西村敏弘 議長

目的

子育て中心の町と病院経営を研修する

日野町は、滋賀県の東南部、鈴鹿山脈の西山ろくに位置し、江戸時代には近江日野商人として名をとどろかせた。その中心の町として繁栄した。その面影が町の随所に見られた。役場において、「日野町第5次総合計画」の策定過程とその実践

について説明を受けた。

子育て支援の取り組みについて

子育てを各課、担当者

が集まり、「子育て支援チーム」をつくり

統一的に進めているこ

とは大いに学ぶべきで

ある。チラシ日野町

子育て情報、第4回

びつこまつりタイムス

ケジュール、子育て応

援通信、日野町早期療

育(児童発達支援)な

どのチラシも、利用

者の目線で作られてお

り、製作者の意欲が感

じられた。

早期療育(発達支援)

平成20年4月から町

単独で発達障害・心身

の障害のある乳幼児の

早期療養実施している



「子育て中心の町」について視察 (滋賀県日野町)

ことである。1歳児から5歳児を受け入れ、幼稚園・保育所との並行通園を実施している。町民・行政の福祉に対する高さを証明している取り組みである。

## 66億円の黒字病院

公益法人丹後中央病院の事務長・総務部長により院内見学、院長より再建経過などを伺う。

病院の建て直しに必要なことは、まず、人の心から。病院は人で動く。徹底的に院内民主化を図った。そのためアウトソーシングはやめた。医業収益66億円の黒字である。情勢の変化に対応できるもののみ生き残れると、地方病院を黒字経営する院長の自信に満ちた報告でした。

## 議会運営委員会

### ・日時

平成26年11月17・18日

### ・視察先

鳥取県日南町

### ・参加者

西村銀三 委員長

谷口 功 副委員長

小林俊之 委員

池田宜広 委員

高橋邦夫 委員

西村敏弘 議長

### ・目的

町議会におけるタブレット端末の導入について

日南町は中国山地のほぼ中央に位置し、西は島根、南は岡山、南西部は広島と3県に接し、山陰・山陽を結ぶJR伯備線の要路となっている。

日南町では平成26年5月より運用を開始している。町議会における会議のペーパーレス

化を図り、経費や労力節減および会議の効率化を目的としている。また情報収集、発信を促進することにより、議員活動および議会の活性化に資するこ

の判断となる。委員会では当町もタブレット端末を導入すべきと考えているが検討すべき課題もある。議員や課長級以上のタブレットの操作が可能か。紙資料との運用感覚の違いは。議員個々の、ダウンロード後の会議データファイル管理は。会場内での通信は不適切であり、その対応をどうするか



「議会にタブレット端末の導入」について視察（鳥取県日南町）

### 町ホームページで 行政情報と議会一般質問の動画を配信中

町民の皆さんに町行政や町議会への関心をいっそう高めていただくため、町ホームページで動画の配信を行っています。

ホームページの「ビデオライブラリー」のバナーからご覧いただけます。

### 議会傍聴のご案内

議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開催されます。みなさん、ぜひ傍聴にお越しください。傍聴の受付は、会場で会議開催15分前から先着順に行います。なお、定員50人になり次第、受付を終了します。

等々である。

予算との兼ね合いもあるが前向きに検討していくべきであろう。

請願書・意見書・人事同意・採決一覧

議会日誌

請願書

●「年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書」の採択を求める請願書  
(全会一致で採択)

●「集団的自衛権関連法案を国会に提出しないことを求める意見書」の提出を求める請願  
(不採択)

意見書

●年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書  
(全会一致で採択)

可決された意見書は国会及び政府関係機関に提出した。

人事同意

●人権擁護委員の推薦  
山本 緑氏(新市)

第71回定例会 議案採決一覧表 (H 26.12)

議案名	議員名																賛成	反対	採決
	1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16				
	中井勝	宮本泰男	小林俊之	池田宜広	中村茂	岩本修作	谷口功	植田光隆	宮脇論	西村銀三	谷田一富	岡坂峰雄	高橋邦夫	中井次郎	西村敏弘				
新温泉町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の制定について	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	—	11	2	可決	
新温泉町立学校給食センター設置条例の一部改正について	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	—	11	2	可決	
鳥取市と新温泉町との定住自立圏の形成に関する協定の変更について	欠席	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	—	11	2	可決	
公の施設に係る指定管理者の指定について(ペット休憩施設 ワンニャン夢ハウス)	欠席	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	12	1	可決	
平成26年度新温泉町一般会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	—	11	3	可決	
「集団的自衛権関連法案を国会に提出しないことを求める意見書」の提出を求める請願	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	—	5	9	不採択	

○は賛成、×は反対、—は議長職のため採決に加わらない(全員賛成議案は省略)

議会日誌

日	内容
6日(10月)	北但行政事務組合 議会定例会 《豊岡市》
6日	美方郡広域事務組合 合定期議会
7日	議会広報調査特別委員会
9日	兵庫県市町正副議長研修会・公務災害組合議会議・評議委員会 《神戸市》
14日	議会広報調査特別委員会
16日	全員協議会
16日	環境福祉常任委員会
21日	環境福祉常任委員会視察研修 《滋賀県日野町》
24日	産業建設常任委員会
24日	産業運営委員会
27日	北但行政事務組合 議会定例会 《豊岡市》
29日	第70回議会臨時会 《豊岡市》
7日(11月)	兵庫県町議会議長 会議員研究会
12日	第58回町村議会議長全国大会 《東京都》
17日	議会運営委員会視察研修
18日	美方郡広域事務組合定期監査
19日	環境福祉常任委員会現地視察
20日	兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会議 《神戸市》
25日	北但行政事務組合 議会臨時会 《豊岡市》
27日	美方郡町議会議連絡協議会視察研修 《鳥取市》
28日	美方郡広域事務組合議会臨時会
4日(12月)	議会運営委員会
10日	第71回議会議定例会
10日	議会広報調査特別委員会
16日	環境福祉常任委員会
17日	産業建設常任委員会
18日	総務教育常任委員会

\*訂正とお詫び\*  
議会だより36号10頁上段の見出し中「水産系を」とは「水産係を」とです。訂正してお詫びします。





挿し絵 木本博明氏

## 結成8年 心豊かに取り組んでいます

足湯倶楽部

会長 道盛 津洋子

私達は平成19年、町の広報で「足湯倶楽部」の募集にボランティアとして申し込みました。足湯の掃除、維持、管理の仕事です。愛町心のある23名の方々に結成されました。

浜坂駅は町の大切な顔です。駅前の活性化につながるよう、舟型に作られた足湯です。平成20年4月2日オープン以来7年目に入りました。利用時間は、4月より午前10時～午後7時迄、38度の温度。10月より午前10時～午後6時迄、41度の温度に設定して居ります。夜間はお湯は抜いています。夜定休日は木曜日。毎日清潔な源泉掛け流しの足湯です。いろんな方達が利用されます。幼児、学生、常連のお婆ちゃん、旅行者、本を読んでいる人、時には若者達が缶ビールを飲み



「大山火の神岳温泉足湯」の視察

賑やかな時も……。ゴミを置いて帰る人はいません。暖簾は海の町に相応しい大漁旗を船主の方から寄附して頂き、毎年新しくメニューで仕立てて居ります。現在は20名の会員ですが、全員顔を合わせる機会が無くて、年一回日帰り研修旅行を行います。各地の足湯が設置してある町を訪問して、いろいろ参考になる話を聞き、質問したり、楽しい昼食の一時を過ごして帰ります。

今年、『大山火の神岳温泉足湯』に行きました。『賑わい復活事業』の一環として設置されたそうです。掃除を終えた後の満足感

は心がとても豊かになります。新しく足湯倶楽部に参加して下さる方をお待ちして居ります。

## 編集後記

新年明けましておめでとーございませう。この冬一番の寒波と同時に新年を迎え身の引き締まる厳しさを感じています。昨年暮れに第3次安倍内閣が発足しました。政府施策の地方創生は大きく期待したいものです。今年10月で新温泉町合併10周年を迎えます。今年は〈羊年〉動物の中でも特に仲間を大切にします。町民こそって隣近所と仲良く暮らしましょう。

広報編集も委員全員スクラムを組み頑張ります。今後、寒さも厳しくなってきました。健康には充分ご留意ください。(M・U)

### 議会広報調査特別委員会

委員長 中村 茂  
副委員長 池田 宜広  
委員 小林 俊之  
岩本 修作  
植田 光隆  
中井 次郎

発行者 議長 西村敏弘